

# 安全、安心なまちづくりを目指して、防災士資格取得に挑戦

## 申請内容

昨年度に引き続き、防災士資格取得に挑戦する。防災士資格を取得することで、防災に関する知識と実践力を身につけることができ、地域や職場の防災リーダーとして認められるほか、災害に備えてのスキルを磨き、安心、安全なまちづくりの担い手として自助、共助、協働の原則のもと、減災につながることを目的としている。

また、各地区での防災訓練への助言や防災講習会の開催等を予定している。活動を通して一般住民の防災意識の向上への効果と防災士資格取得希望者が増えることにつながる効果が見込まれる。

## 実施内容

本年度の内容としては、資格取得に取り組むということで、昨年度とほぼ同じ内容で実施した。防災士の資格はどのようなものなのか、こういったことが出来る資格なのか説明するため説明会を開催し、今年度は16名が受験し、全員が合格。これで下諏訪町における防災士の人数は51名となった。

また、平成28年6月に日本財団主催の災害時地域リーダー研修という実地訓練形式の研修が下諏訪町で開催され参加した。どうしても資格取得だけでは、机上の学習のみで、なにをどうしたら良いかわからないことが多かったが、この研修を通じて様々なケースを体験し学習することが出来た。

この研修を通じて、防災士資格とは別に災害時エリアマネージャーという資格を7名が取得することができた。エリアマネージャーの資格は、避難所と避難所をつなぎ、コントロールするほか、町内だけでなく他自治体が被災した際にも日本財団から出動要請があれば、活動することが出来るという資格である。

現在、自主防災会の見直しが各区で始まっており、この事業のおかげで、各区における防災意識の見直しや住民の意識向上につながった。

